

臨床検査技師

中内 緑(なかうち みどり) 技師

臨床検査技師は、臨床検査を行い、医師が診断や治療方針の決定、治療判定を行う際に必要なデータを提供する仕事です。臨床検査というと、血液検査や尿検査、心電図などを想像される方が多いかと思いますが、ひと言で臨床検査といっても、その内容はさまざまです。本院でも生理検査、血液検査、細菌検査、輸血検査、病理検査など様々な検査を行っており、そのあらゆる分野で臨床検査技師が活躍しています。

中内技師の専門は睡眠に関する病気だそうです。睡眠に関する病気とは、過眠症・不眠症・睡眠時の異常行動など、睡眠に障害があることで生活に支障をきたす病気とのことです。中内技師は、PSG検査(睡眠ポリグラフ検査)を用いて、入院患者さんが寝ている間の脳波、心電図、呼吸運動、筋電図のデータを解析し、その結果を診療科の医師に提供します。医療の高度化、細分化に伴い、専門的知識を有する臨床検査技師の役割は大きく、正確な検査データの提供が求められます。「正確な検査データを提供するために、知識の裏付けは必須。日々の勉強は義務です」とのことです。

また、患者さんの協力が得られないと正確なデータが出ない検査も多いことから、日々の業務の中での患者さんとのコミュニケーションについても大切にされています。

最後に「以前は大阪の睡眠専門の医療施設に勤務していま



したが、睡眠障害の原因は心臓であったり、脳であったりさまざまです。専門施設での限界を感じ、様々な診療科がある徳島大学病院に赴任してきました。今後はより知識を深め、睡眠で悩んでいる患者さんに、適切な診療科を案内できるように、キャリアを積んでいきたい。」と熱く語ってくれました。